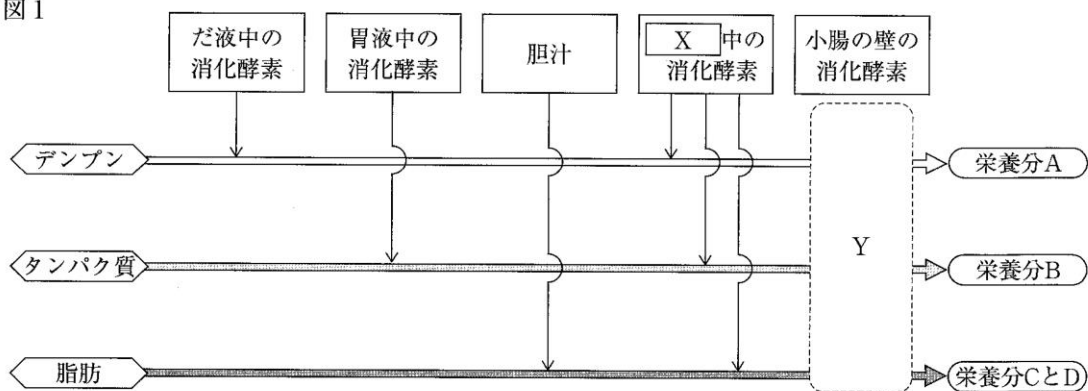


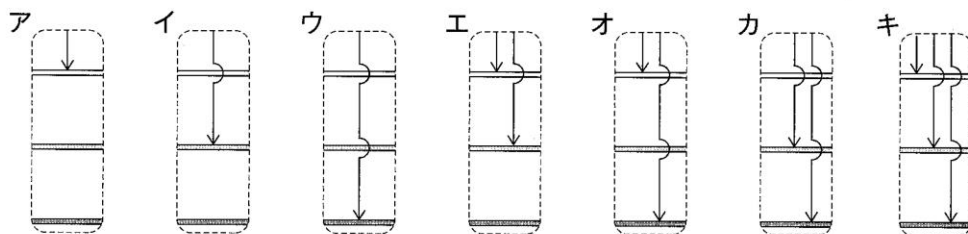
3

図1は、ヒトがとりこんだデンプン、タンパク質、脂肪が、消化液などによって分解され、栄養分A～Dになるようすを模式的に表したものです。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1



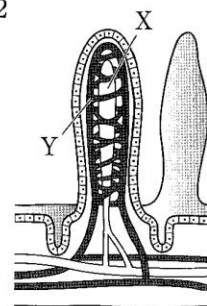
- (1) 図1の **X** にあてはまる消化液は何ですか。名称を答えなさい。
- (2) 脂肪の分解にはたらく胆汁は、何という器官でつくられますか。名称を答えなさい。
- (3) 図1のYにあてはまる図はどれですか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



- (4) タンパク質が分解されて最終的にできる図1の栄養分Bは何ですか。名称を答えなさい。
- (5) 図2は、小腸内部の柔毛の断面を模式的に表したものです。分解され

て最終的にできる図1の栄養分A～Dは、柔毛に入ったあと、どこの管に入りますか。適当なものを次から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 栄養分AとBは、そのままXの管に入る。  
 イ 栄養分AとBは、そのままYの管に入る。  
 ウ 栄養分AとBは、グリコーゲンになってXの管に入る。  
 エ 栄養分AとBは、グリコーゲンになってYの管に入る。  
 オ 栄養分CとDは、そのままXの管に入る。  
 カ 栄養分CとDは、そのままYの管に入る。  
 キ 栄養分CとDは、再び脂肪になってXの管に入る。  
 ク 栄養分CとDは、再び脂肪になってYの管に入る。



- (1) すい液中の消化酵素であるアミラーゼはデンプンを、トリプシンはタンパク質を、リパーゼは脂肪を分解します。

- (4)(5) ブドウ糖(A)とアミノ酸(B)は毛細血管(Y)に入ります。その後、ブドウ糖の一部は肝臓でグリコーゲンに変えられてたくわえられます。脂肪酸とモノグリセリド(CとD)は柔毛から吸収された後、再び脂肪となってリンパ管(X)に入ります。

(1)	えき すい液
(2)	かんぞう 肝臓
(3)	エ 13
(4)	さん アミノ酸
(5)	イ, キ 順